

∞ バトンをつなぐ家

～心も体もあたたまる住まい～



人と人の不思議なつながりに後押しされ、積み重なる縁によって、想像をはるかに超える住まいに仕上がったK様の家。一本の柱、一卓の机、手作りの作品、ひとつひとつに思い出話は尽きません。つながりに感謝しながら住まうK様の豊かな暮らしを訪ねました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.91



建替え前の庭木を一部移植するなど、元からあるものを活かす設計を大切にしました。



長野市川中島町 K様ご家族/
ご夫婦と娘さんの3人住まい
竣工/H27年11月 営業/脇坂奈緒
敷地面積/102.70坪 I C/川村裕子
延床面積/42.58坪 施工/平澤雄太



工房信州の家に決めるまでのストーリーを教えてください！

ご主人 定年退職を目前にして、ゆくゆくは建替えを考えようと思ってはいたものの、時期は漠然としていました。トントン拍子で進められたのは、色々なつながりに支えられたからなんです。元々はラジオで社名を聞いたことがあり、書店で偶然に小澤社長の本を見つけて読み込んでいました。木の家や薪ストーブにも惹かれましたが、昔の家のイメージがある「土間」を現代にどう活かしているのかが興味が湧きました。

奥様 ちょうどその頃、夫婦ぐるみのお付き合いの同僚が家を建てると聞いてメーカーを尋ねたところ、私たちが興味を持っているのと同じ「工房信州の家」！話を聞いて盛り上がって初めて展示場にお邪魔し

たところ、その同僚の担当者である脇坂さんにぼったり出会ってまた盛り上がり(笑)。提案内容も想像しなかったアイデアを次々といただき、期待が高まりました。私たちは当たり前のように南に向く暮らしをイメージしていましたが、敷地条件に合わせて東に大きく開放する空間を設計していただき、これが非常に心地良いです。

ご主人 実家に遺されていた山の木や古い板材の利用を勧めてくれたことも大きな後押しでした。まさか新居に使うとは思いませんでした。先代の遺品を我が家ならではの個性として活かしていただき、感激です。これを機にあいまいだった山の境界も明確になり、自分の山への意識も高まりました。家づくりに関われることも魅力的で、自分でデザイン・制作したステンドグラスは家じゅうから眺められ、充足感があります。



新居が完成していかがですか？



奥様 とにかく暖かいですよ！前の家では、毛布・あんか・靴下がないと眠れませんでした。今は羽毛布団一枚だけで十分です！



ご主人 御社には、未来のある会社だ、という印象を強く持っています。荣誉ある多くの賞を受賞され、メディアでも良く取り上げられている。特に、工房信州の家を象徴する空間である土間サロンは、作り手も住み手も信州人の気質である「ズク」がないとなかなかできないことだと思います。こうした家づくりがさらに信州に広がってほしいですね。



ご実家の山で伐採したスキを、リビングの丸柱と太鼓梁に。植えて育ててくれた先代へ思いを馳せる空間。

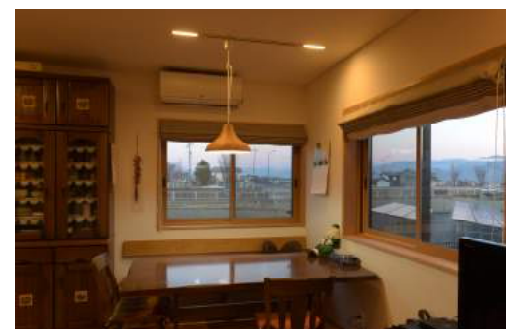


担当 脇坂奈緒

雪積もる日に山へ入り伐採したこと、何十枚にもわたって構想を練ったステンドグラスのデザイン画など、私も一緒にたくさんのお思い出を作らせて頂きました！

Focus on the Owner!!

野菜や植物を置いたり薪を割ったりと大活躍の土間サロン。美術の先生であったK様は、作品作りの作業場としても重宝されているそう。新年に向けて、新たな紙粘土作品の構想に余念がない様子でした！



奥様いちばんのお気に入りにはダイニング。壁付ベンチに腰かけ、ワイドな開口から東の山並みを望む落ち着いた空間。



ご実家の倉庫に長く眠っていたケヤキ板は、美しい座卓に再生。お孫さんを含めた皆で囲む、一家団欒の主役に。



学生時代の石膏作品や家族のアルバムなど、思い出の品の寸法に合わせて飾り棚を計画したオープンな書斎コーナー。

